

の雑費など合計3億5千3百57万8千円となり、営業利益は1億4千8百34万円となった。

営業外費用での借入金と今回から除去債務に係る会計基準を適用したのに伴い平成22年度当期純損失が9千98万2千円となった。

平成23年度事業計画は売電単価が1kW当たり現在の9円19銭から約8%低下の8円46銭になることで売電収入は4億3千2百96万6千円とするなどの報告がなされた。

Ⓜ 幌延風力発電は創業から8年目になるが、将来的には減価償却費の積み立を利用して大規模な建て替えなどを考えているのか。

Ⓜ 風力発電施設の耐用年数は17年となっているが、北電との契約単価が年々下がっていくステップ方式という契約なので、17年後は、まだ不透明な状態で明確に答えられない。

Ⓜ 会社の設立は平成12年10月24日と説明を受けている。当時の出資者は幌延町と日本鋼管、伊藤忠商事、

地元企業8社と言うことでしたが、現在地元企業は何社残っているのか。

### 議案第6号 工事請負契約の締結

幌延町立診療所過疎対策外構整備工事の請負契約を締結し施工していたが、当初の設計に変更が生じ、その設計概数が確定したことにより、予定価格が5千万円を超え、5千1百92万2千5百円となったため議会の議決が必要となった。

議案第1号  
平成23年度幌延町一般会計補正予算  
北海道市町村備荒資金組合負担金8千3百10万円を補正で増額する理由は何か。

Ⓜ 契約後の変更とのことだが、設計に用いた概数の確定とはどういうことか。

Ⓜ この備荒組合は災害時の相互扶助のための基金で全道の市町村全部が加入している組合です。負担金の限度額はなく、利率が0.89%と高く町としては24年度までに3億程度積みたい。

Ⓜ 最近の発注方式で、現場の状況に合わせて積算数値を確定し、新たな工事契約額を詰め、請負業者は当初

Ⓜ この基金は22年度決算資料に載っていない。利息等の配当金は一般会計に運用できるのか。

Ⓜ 以前の通り、今後このような変更がふえるのか。

Ⓜ この基金の配当はあくまで組合の中で処理する。また備荒資金の残高については決算説明資料の中で何らかの形でお知らせしていきたい。

Ⓜ 最近では工期が近づき契約金額の変更をして工事を完了するケースが増えている。



診療所視察風景

◎平成24年度農業予算編成ならびに税制改正に関する意見書  
国内農業対策の強化を図り、経営形態別の目標とすべき構造を明示し、食糧自給率の目標達成のための農政推進と税制改正など、省庁横断的な施策の展開を求めらる。

◎東日本大震災を教訓とした災害に強い地域づくりを訴える意見書  
今後、災害に強い地域づくりを進めるための社会資本整備と防災教育など総合的な防災対策強化を求めらる。

◎森林・林業・木材産業施策の積極的な展開に関する意見書  
森林整備を着実に推進し、低炭素社会の実現に着目した公共、民間での地域材の利用推進と間伐材を利用した木質バイオマスエネルギーを最大限活用するなど木材産業の経営安定と森林所有者の負担軽減を推進する。

提出者 吉原 哲男氏  
以上全案件を採択する。



町営牧場放牧風景